

県民参加型予算（提案・選定型）の実施

令和6年（2024年）2月6日
企画振興部地域振興課
地域連携支援係
担当 田中、木次、杉山
電話 026-235-7023（直通）
FAX 026-232-2557
E-mail shinko@pref.nagano.lg.jp

県民等（団体・企業等を含む）の新たな発想や問題意識を取り入れ、県予算を共に創り上げるため、地域振興局ごとに、それぞれの地域の課題を踏まえたテーマを設定し、事業提案の募集・審査を実施

事業概要 （選定方法）

県民、団体等の皆様からご提案いただいた事業について、公募による審査員が審査を行い、その結果を踏まえ、地域振興局において予算化に向けた事業を選定

提案者

県内に住所を有する個人
県内に本社・支店等がある団体、NPO、企業等（任意団体を含む）

実施地域振興局 ・ 募集テーマ

佐久地域振興局 : 小海線利用促進プロジェクトについて
上田地域振興局 : ワインを活かした観光地域づくりについて
上伊那地域振興局 : カラマツ・アカマツをはじめとした上伊那地域産材の利活用促進について
木曽地域振興局 : 木曽地域の森林資源や林業関係機関を活かした人材の確保・育成策について
北アルプス地域振興局 : 北アルプスを活かしたグリーンシーズンの観光振興について
北信地域振興局 : 雪国での再エネ実装について

提案事業数

34件（佐久：9、上田：5、上伊那：3、木曽：7、北アルプス：6、北信：4）

審査員数

78名（佐久：14、上田：9、上伊那：12、木曽：17、北アルプス：13、北信：13）

※高校生や大学生を含む幅広い年齢層の方が参加

年齢区分	～20代	30代	40代	50代	60代～
人数	19名	6名	20名	11名	22名

[審査会の様子]



予算化事業	振興局名	事業名	提案者	概要	予算額	予算計上課
	佐久	地域資源を活用した小海線利用促進事業 ～地域公共交通の維持・発展を目指して～	佐久地域自転車活用推進協議会 (株)MoSAKU	小海線の利用を促進するため、公共交通機関を利用したアウトドアアクティビティの楽しみ方や、移住者・ファミリー目線で小海線や沿線地域の魅力を発信します。 ・登山・自転車等のアウトドアアクティビティ利用者向け列車の実証運行 ・移住者・来訪者向けのガイドブックの作成、SNSによる情報発信	9,615	交通政策局 交通政策課
	上田	上田地域ワイン・ツーリズム拠点整備・創出事業 ～ワイン産業と観光を盛り上げるマリアージュ大作戦～	(一社)フード&エコロジー信州 長野県ワイン協会	ワインを活かした観光地域づくりを更に進めるため、訪れる観光客等が当地域のワインを気軽に楽しめる環境構築や、遊休不動産を活用した新たなワイン関連ビジネスの創出に取り組みます。 ・駅・宿泊施設等へのサーバーなどワイン提供機器の導入支援 ・遊休不動産を活用した事業アイデアと起業家等とのマッチング	9,608	企画振興部 地域振興課 観光部 山岳高原 観光課
	上伊那	上伊那地域材利活用促進事業	上伊那森林組合 森の営業 めつつあ	地域材の域内加工・消費を拡大するため、生産者から需要者まで顔の見える推進体制を構築し、リアルとオンラインを組み合わせた情報発信・製品販売の場づくりに取り組みます。 ・アンテナショップ（地域材に関する情報拠点）の設置 ・ECサイトの開設 ・青空市（展示・販売、体験イベント）の開催	8,405	林務部 県産材利用 推進室
	木曽	木曽地域材製品・DIYキット開発事業 ～高付加価値化と利用拡大で人材をつなぎ育てる～	木曽南部森林組合	木曽産木製品等の開発を通じて林業・木材産業の人材確保・育成につなげるため、付加価値の高い「新たな木製品」の開発・試作や日常生活で使える「木質空間づくりDIYキット」の開発・活用実践に取り組みます。 ・高付加価値化に向けた新たな木製品の開発 ・地域内での利用拡大に向けたDIYキットの開発	5,640	林務部 信州の木 活用課
	北アルプス	北アルプス地域滞在型周遊観光キャンペーン事業	(一社)HAKUBA VALLEY TOURISM	グリーンシーズンにおける滞在日数の長期化と通年誘客を図り、観光消費額増大につなげるため、北アルプス地域全体で地域の魅力を発信し、周遊観光を促すキャンペーンに取り組みます。 ・地域周遊デジタルスタンプラリーの実施	6,902	観光部 観光誘客課
	北信	雪国住宅太陽光発電普及事業	(有)江口建設	雪国での太陽光発電普及のため、積雪地の建築様式ごとに設置可能な太陽光発電システムを調査・類型化し、設置者（家主）と設置業者双方への情報提供に取り組みます。 ・住宅屋根のサンプリング調査 ・建物様式、地域・積雪深ごとに設置可能な太陽光発電システムを示したガイドブックの作成等	9,999	環境部 ゼロカーボン 推進室

(参考) 県民参加型予算(提案・選定型)の選定経過について

振興局名	募集テーマ	提案事業例(下線は選定事業)	選定事業に対する審査員の主なコメント	選定理由
佐久	小海線利用促進プロジェクトについて	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>アウトドアアクティビティ優先車両の実証運行</u> ・<u>移住者・来訪者向けガイドブックの作成</u> ・<u>ラッピング列車の運行</u> ・無人駅のイルミネーション、フェスの開催など 	<ul style="list-style-type: none"> ・アウトドアアクティビティ優先車両については、登山する立場として他地域に負けない可能性を感じる ・移住者・来訪者向けガイドブックの作成は、生活の足として利用する人を増やす取組として重要だと考える 	<ul style="list-style-type: none"> ・佐久地域は八ヶ岳や白駒の池など自然環境に恵まれているとともに、転入者が多い地域である ・小海線の利用促進に向け、地域の特性を活かした取組となることが期待できる
上田	ワインを活かした観光地域づくりについて	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>遊休資産・起業家・出資者のマッチング</u> ・<u>コイン式ワインサーバー機器等の設置</u> ・<u>ワインガイド養成講座</u> ・千曲川ワインバレーのホームページ改修など 	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家の活用という点が評価できる ・ワイン産業と観光を結びつけるしくみとして非常に興味深い ・コイン式できっかけをつくった後、物産店で購入や店舗での飲食につながり、地域活性化につながると思う 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光コンテンツの充実につながるほか、地域に新たな投資を呼び込むきっかけになることが期待できる ・当地域がワイン産地であるという印象付けとともに、ワイナリーへの訪問、更にはワイン・ツーリズムの振興・発展につながることを期待できる
上伊那	カラマツ・アカマツをはじめとした上伊那地域産材の利活用促進について	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>地域材のアンテナショップ設置・運営、青空市の開催</u> ・<u>地域材のECサイトの開設・運営</u> ・薪ボイラーを活用した足湯イベント開催など 	<ul style="list-style-type: none"> ・PRの場が不足していることは確か。実際に地域材に触れられる場は大切 ・若い世代や地域外への情報発信にも注力してほしい ・複数の提案事業(アンテナショップ・青空市とECサイト)を連携して実施すると効果的 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域全体の林業振興につながることを期待されるとともに、広域的な周知・調整が必要で、県として取り組むべきもの ・2つの提案事業(リアル・オンライン)を組み合わせることで、事業効果が高まることが期待できる
木曾	木曾地域の森林資源や林業関係機関を活かした人材の確保・育成策について	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>若者等の視点も取り入れた木曾谷への移住・就業・就学促進</u> ・<u>木曾産木材の活用</u> ・木曾谷の魅力コンテンツをSNSで発信 ・都市部での木曾産カラマツ利活用など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ウッドチェンジの推進は、山の活用・整備も進み、林業従事者の雇用も増えるきっかけになる ・県産材を広く活用する仕組みがほしい ・地域の活性化、移住者どちらのニーズも満たしているので非常によいと思う 	<ul style="list-style-type: none"> ・林業、木工を学ぶ若者等の視点や林業関係教育機関の活用により、人材確保・育成につながることを期待できる ・木曾産木材による木造・木質化により需要拡大が進むことで、林業・木材産業の活性化につながることを期待できる
北アルプス	北アルプスを活かしたグリーンシーズンの観光振興について	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>滞在型周遊観光キャンペーン</u> ・<u>大町市商店街への店舗誘致と登山バス運行</u> ・<u>民話の語り部養成と旅行商品化</u>など 	<ul style="list-style-type: none"> ・北アルプス地域全体で実施するという視点が必要 ・潜在的な観光資源の掘り起こしや多くの関係者が参加できる仕組みが必要 ・新たな周遊ルートを構築することでグリーンシーズンのコンテンツが充実する 	<ul style="list-style-type: none"> ・滞在型の周遊観光キャンペーンであれば、多くの関係者を巻き込んで長期滞在型の誘客が展開でき、これを北アルプス地域全体を対象に実施することで、当地域のグリーンシーズンの観光振興が期待できる
北信	雪国での再エネ実装について	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>建物様式ごとに適する太陽光発電システムを調査、分類したガイドブック作成</u> ・<u>複数種類の太陽光発電パネルによる比較・実証実験(データ取得)</u> ・<u>雪貯蔵の実証、家畜への雪氷熱利用の検証</u>など 	<ul style="list-style-type: none"> ・設置者、設置業者にとって大変有効 ・住民の知りたいことや設置する際のイメージが具現化し、普及促進の加速が期待できる ・他地域での活用が期待できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・家主と供給側(メーカー・施工業者)の両面への働きかけが可能な取組 ・豪雪地に太陽光パネルの施工業者が増え、新たな仕事を創出する可能性がある ・長野県発で他の豪雪地への波及効果が期待できる

県民参加型予算（提案・共創型）の実施

令和6年（2024年）2月6日
 企画振興部広報・共創推進課
 対話・共創推進係
 担当 小池、北澤、宮本、森山
 電話 026-235-7190（直通）
 FAX 026-235-7258
 E-mail kyoso@pref.nagano.lg.jp

県民（団体・企業等）の新たな発想や問題意識を取り入れ、県予算を共に創り上げるため、本庁部局が提示するテーマについて事業提案を募集・選定し、共創により事業を構築

- 事業概要（選定方法）** 5テーマに対して、県内の企業・団体等の皆様から事業提案をいただき、ヒアリング等を経て選定。選定された提案について、提案者とテーマ担当課を中心に約半年間継続的に対話を重ねて事業内容を検討し、事業を構築。
- 提案者** 県内に本社・支店等のある団体、NPO、企業等（任意団体を含む。個人は含まない）
- 提案・選定事業数** 提案のあった28件のうち、**6件**（各テーマ1～2件）を選定
- 予算化テーマ・事業** 5テーマのうち**4**テーマにおいて事業構築し、**R6当初予算案**に計32,574千円を計上
 ※「スマート農業による「匠の技術」の伝承」については、採算性の面から事業化を見送り

（単位：千円）

テーマ・事業名	共創による事業構築者	事業概要	予算額	予算計上課
信州まつもと空港における賑わい創出事業	<ul style="list-style-type: none"> 信州大学地域参画プロジェクトCHANGE 循環型コミュニティ空港推進協議会 株式会社共立プランニング 	航空便利用者だけでなく、空港来訪者や地域住民にとって親しみのある空港とするため、ジェット化開港30周年を契機とした魅力向上事業を実施し、賑わいを創出します。 <ul style="list-style-type: none"> ジェット化開港30周年イベントの開催 空港の魅力を伝えるフォトスポットの制作・設置 	9,115	企画振興部 松本空港課
共生社会実現への体験機会創出事業	<ul style="list-style-type: none"> 長野朝日放送株式会社 株式会社シューマート 	障がい者共生条例を踏まえ、「障がいの社会モデル」※の理念を普及し、障がい者に寄り添った行動変容を促すため、共生社会実現に向けた体験機会を創出します。 <ul style="list-style-type: none"> 社会的障壁を発見し、改善策を障がい当事者ととも考えるワークショップの開催 障がいに対する理解を促す研修の実施 「障がいの社会モデル」を普及し、行動変容を促す広報・啓発の実施 ※障がいの社会モデル…障がい者の社会参加を制限する「社会的障壁」を取り除くのは社会的責務であるとする考え方	8,886	健康福祉部 障がい者支援課
伝統的工芸品・クラフト連携促進事業	<ul style="list-style-type: none"> 木曽漆器工業協同組合 (一財)塩尻・木曽地域地場産業振興センター 	伝統的工芸品の新たなファン・消費者の拡大を図るため、伝統的工芸品とクラフトの魅力をも共有する場を確保し、クラフトパーソンとの交流・連携を促進します。 <ul style="list-style-type: none"> 木曽平沢に伝統的工芸品とクラフトの魅力をも共有する場を整備 伝統的工芸品・クラフトをテーマにしたワークショップやイベント等を開催 	9,135	産業労働部 産業技術課
県営住宅空き住戸の有効な利活用事業	<ul style="list-style-type: none"> 労働者協同組合ワークス コープ・センター事業団 松本大学 	県営団地内の住民コミュニティ形成に向け、多様な世代がつながり支え合う住民主体の取組を促進します。 <ul style="list-style-type: none"> 交流事業に係る施設整備 活動団体の人材育成支援の促進 	5,438	建設部 建築住宅課 公営住宅室